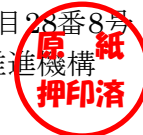




保証継続報告書

東京都文京区本駒込2丁目28番8号
独立行政法人情報処理推進機構
理事長 富田 達夫



変更TOE

申請受付日 (受付番号)	令和2年12月18日 (IT継続0127)
認証識別	JISEC-C0691
製品名称	KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514
バージョン及びリリース番号	GG1-7B
製品製造者	コニカミノルタ株式会社
機能要件適合	プロテクションプロファイル適合、CCパート2拡張
プロテクションプロファイル	Protection Profile for Hardcopy Devices 1.0 dated September 10, 2015 (認証識別: JISEC-C0553)

上記の変更TOEについて、以下のとおり保証継続の結果を報告します。

令和3年2月4日

セキュリティセンター セキュリティ技術評価部
技術管理者 矢野 達朗

評価基準等: 「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」で定める下記の規格に基づき、
変更TOEに対して保証継続の検証がされた。

- ① Common Criteria for Information Technology Security Evaluation Version 3.1 Release 5
- ② Common Methodology for Information Technology Security Evaluation Version 3.1 Release 5

認証結果: 合格

「KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514、バージョン GG1-7B」(変更TOE)は、独立行政法人情報処理推進機構が定めるITセキュリティ認証等に関する要求事項に従い、定められた規格に基づいて検証した結果、継続TOEとして、保証が継続されることを確認した。

目次

1	全体要約	1
1.1	はじめに	1
1.2	保証継続識別	1
1.2.1	変更TOE識別	1
1.2.2	認証TOE識別	1
1.2.3	認証TOEのST識別	2
1.2.4	認証TOEの認証報告書識別	2
1.3	保証継続の認証	2
1.4	報告概要	3
1.4.1	変更の記述	3
1.4.2	変更された開発者証拠	3
1.4.3	変更TOE添付ドキュメント	3
2	保証継続実施及び結果	5
2.1	実施概要	5
2.2	サブセット評価実施	5
2.3	認証実施	5
3	結論	6
3.1	認証結果	6
3.2	注意事項	6
4	用語	7
5	参照	8

1 全体要約

1.1 はじめに

この保証継続報告書は、認証済みのTOE「KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514、バージョン GG1-7B」（以下「認証TOE」という。）にTOEの機種を追加した「KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514、バージョン GG1-7B」（以下「変更TOE」という。）の保証継続について、認証結果を申請者であるコニカミノルタ株式会社に報告するとともに、変更TOEに関心を持つ調達者や消費者に対して変更情報を提供するものである。

本保証継続報告書の読者は、本書と共に、以下に示す認証TOEの認証報告書[3] とST[4]及び変更TOEのST[7]を併読されたい。変更情報以外のセキュリティに関する情報は、認証報告書及びSTに詳述されている。

本保証継続報告書は、変更TOEに対して、認証TOEと同じ保証を与える保証継続についての認証結果を示すものであり、個別のIT製品そのものを認証するものではないことに留意されたい。

1.2 保証継続識別

1.2.1 変更TOE識別

本保証継続の対象とする変更TOEは以下である。

製品名称：	KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514
バージョン及びリリース番号：	GG1-7B
製品製造者：	コニカミノルタ株式会社

1.2.2 認証TOE識別

本保証継続の認証TOEは以下のとおりである。

製品名称：	KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514
バージョン及びリリース番号：	GG1-7B
製品製造者：	コニカミノルタ株式会社

1.2.3 認証TOEのST識別

本保証継続の認証TOEのSTは以下のとおりである。

名称： KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514,
DEVELOP ineo+ 450i with FK-514
セキュリティターゲット
バージョン： 2.00
作成日： 2020年10月27日
作成者： コニカミノルタ株式会社

1.2.4 認証TOEの認証報告書識別

本保証継続の認証TOEの認証報告書は以下のとおりである。

認証報告書識別： JISEC-CC-CRP-C0691-01-2020
作成日： 令和2年11月18日
作成者： 独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター セキュリティ技術評価部

1.3 保証継続の認証

認証機関が運営するITセキュリティ評価及び認証制度に基づき、公表文書「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」[1]、「ITセキュリティ認証等に関する要求事項」[2]に規定された内容に従い、認証機関は、開発者が作成した影響分析報告書[6]（以下「IAR」という。）を検証した。認証機関は、「Assurance Continuity: CCRA Requirements」[5]に照らしてIARを検証した結果、認証TOEに対する変更はマイナーであり、変更TOEに対して保証が継続されることを確認した。認証機関はIARに基づき本保証継続報告書を作成し、認証作業を終了した。

1.4 報告概要

1.4.1 変更の記述

TOEに以下の3機種が追加された。

Sindoh D730 with FK-514 バージョン GG1-7B
 Sindoh CM4093 with FK-514 バージョン GG1-7B
 Sindoh CM4095 with FK-514 バージョン GG1-7B

認証TOEの機種と、追加された機種の違いを以下に示す。

TOEの機種	追加機種	名称以外の違い
bizhub C450i	D730	なし
	CM4093	2段キャビネット装着
	CM4095	フィニッシャー装着

追加された機種は、セキュリティ機能を実現するソフトウェアとハードウェアは、認証TOEに含まれる機種と同じである。そのため、TOEのセキュリティ機能に影響はない。

1.4.2 変更された開発者証拠

TOEの機種の追加は、認証TOEのために提出された開発者証拠の一部の変更を必要とした。変更された開発者証拠は、正確に識別され、改訂版が作成された。

変更TOEのSTは以下のとおりである。

名称： KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514,
 DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/
 CM4093/CM4095 with FK-514 セキュリティターゲット
 バージョン： 3.00
 作成日： 2020年11月24日
 作成者： ユニカミノルタ株式会社

1.4.3 変更TOE添付ドキュメント

TOEに追加された機種に添付されるドキュメント（英語版）を以下に示す。これらのドキュメントは、認証TOEに含まれる英語版のドキュメントと、機種名の違いを除いて、同じ内容である。

・ Sindoh D732/D731/D730/CM6013/CM5103/CM4093/CM6015/CM5105/
 CM4095 USER MANUAL Version 1.00

- ・ Sindoh D732/D731/D730/CM6013/CM5103/CM4093/ CM6015/CM5105/
CM4095 User's Guide [Security Operations] Version 1.04

なお、認証TOEに含まれる機種に添付されるドキュメントは、認証TOEと同じであり、変更はない。

2 保証継続実施及び結果

2.1 実施概要

保証継続は、令和2年12月18日に申請を受け付けし、本保証継続報告書の完成をもって完了した。

2.2 サブセット評価実施

変更TOEには、評価機関による再評価を必要とする変更はない。

2.3 認証実施

認証機関は、開発者より提出されたIARについて、TOEの変更により影響がないことを確認するために、以下の検証を実施した。

- ① TOEの変更に伴い変更する開発者証拠は妥当であること。
- ② TOEの変更内容に対する影響分析の過程及び結果が妥当であること。
- ③ TOE自体及びTOEの動作環境に変更はなく、TOEのテストは不要であること。

3 結論

3.1 認証結果

提出されたIARを検証した結果、認証機関は、認証TOEに対する変更の影響はマイナーであり、本変更TOEにおいても認証TOEの保証要件に対する保証は維持されるものと判断する。

3.2 注意事項

特になし。

4 用語

本保証継続報告書で使用された略語を以下に示す。

CC	Common Criteria for Information Technology Security Evaluation (セキュリティ評価基準)
CEM	Common Methodology for Information Technology Security Evaluation (セキュリティ評価方法)
IAR	Impact Analysis Report (影響分析報告書)
ST	Security Target (セキュリティターゲット)
TOE	Target of Evaluation (評価対象)

本報告書で使用された用語を以下に示す。

影響分析報告書	認証TOEへの変更の影響分析が記録された報告書を表す。
継続TOE	認証TOEに対して継続プロセスを経て以前の認証の適用が認められた変更TOEをいう。認証TOEに対して与えられた同じ保証が、継続TOEにも適用される。
サブセット評価	評価機関が、開発環境の変更によって影響を受ける保証要件だけを再評価すること。
認証TOE	評価され認証書が発行されたTOEのバージョンのことをいう。
変更TOE	認証TOEに対して、変更が加えられた異なるバージョンをいう。

5 参照

- [1] ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程, 令和2年10月, 独立行政法人情報処理推進機構, CCS-01
- [2] ITセキュリティ認証等に関する要求事項, 令和2年10月, 独立行政法人情報処理推進機構, CCM-02
- [3] KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514、バージョン GG1-7B 認証報告書, 令和2年11月18日, 独立行政法人情報処理推進機構, JISEC-CC-CRP-C0691-01-2020
- [4] KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514 セキュリティターゲット, バージョン 2.00, 2020年10月27日, コニカミノルタ株式会社
- [5] Assurance Continuity: CCRA Requirements, Version 2.1, June 2012
- [6] KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514 GG1-7B 影響分析報告書, バージョン1.02, 2020年12月18日, コニカミノルタ株式会社
- [7] KONICA MINOLTA bizhub C450i with FK-514, DEVELOP ineo+ 450i with FK-514, Sindoh D730/CM4093/CM4095 with FK-514 セキュリティターゲット, バージョン 3.00, 2020年11月24日, コニカミノルタ株式会社